

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①フレキシブルスクールから年次進行型の単位制普通科への教育課程の改編・充実を円滑に実施する。</p> <p>②授業改善に取り組み、生徒の主体的な学習活動を促進し、より深い学力の定着を目指す。</p>	<p>①フレキシブル型と年次進行型のそれぞれの特徴を生かした教育活動の充実を図るとともに、年次進行型への移行を円滑に実施する。</p> <p>②生徒の確かな学力の一層の定着を目指し、組織的に授業改善を推進する。</p>	<p>①教育課程プロジェクトチームを立ち上げ、各教科と連携し、基礎学力の定着と自己実現を図る教育課程を検討する。</p> <p>・年次進行型が円滑に運用できるよう、教育課程等の規定や制度について精査、見直しを行う。</p> <p>②授業時間の変更に伴い、生徒の実態を把握、分析し、生徒の理解度に応じた指導方法のあり方について研究し、組織的に授業改善に取り組む。</p>	<p>①年次進行型の教育課程について、生徒の実態を踏まえ、検討を行い改善できたか。</p> <p>・年次進行型教育課程の運用に係る規定や制度の見直しを行い、整備することができたか。</p> <p>②生徒の理解度に応じた指導方法について研究し、組織的に授業改善を進めることができたか。</p>					
2 生徒指導・ 支援	<p>①学校行事、部活動の活性化を図り、多くの生徒に社会性や自己肯定感を育成する。</p> <p>②生徒個々の状況に応じ、一人ひとりを大切に教育相談、支援の取り組みを推進する。</p>	<p>①規範意識を醸成し、公共心、社会性を育成するとともに、学校行事や部活動、ボランティア活動等を通じて生徒一人ひとりの自己肯定感を高める。</p> <p>②生徒の実態を把握し、職員間で情報を共有するとともに、個々の課題解決に向け組織的に支援を行う。</p>	<p>①学校行事、授業やLHRなどの全ての教育活動を通じて、生徒の帰属意識を高める。</p> <p>・生徒会活動の内容の充実を図り、学校行事や部活動等を活性化させる。</p> <p>②定期的に情報交換会を開催するとともに、必要に応じたケース会議やSC・SSWとの連携など支援体制の充実を図る。</p> <p>・相談窓口を設定し、生徒に周知するとともに、気軽に相談できるような体制を整備する。</p>	<p>①学校行事や部活動等の活性化に向け、生徒の取り組みや運営の工夫を行ったか。その結果、学校行事の参加者数(参加率)、部活動入部率は前年度に比べ上昇したか。</p> <p>②情報交換会やSC・SSWと連携し個別に対応することによって生徒が抱えている課題を解決することができたか。</p> <p>・生徒が気軽に相談できる体制を構築できたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (平成 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	計画的、組織的な進路支援やキャリア支援を推進し、生徒一人ひとりが自らの資質や将来としっかり向き合い、自ら進路を切り開こうとする態度を育む。	生徒一人ひとりのキャリア意識を育成するとともに、生徒の多様な進路希望に対して計画的、組織的に対応し、進路希望の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査等によって、生徒の進路意識を把握するとともに、諸活動を通して生徒のキャリア意識を喚起する。 進路相談体制の充実を図り、試験結果等の分析を踏まえ、生徒個々への進路指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望に基づき、希望する進路を実現した生徒の割合が90%を超えたか。 進路相談体制の充実を図り、進路希望調査における未定の割合を前年度より減らすことができたか。 					
4	地域等との協働	<p>①様々な場面で地域及び外部機関等と広く連携した教育活動の展開に努め、生徒の学びや経験の幅を深める。</p> <p>②外部に向けて積極的な情報発信に努め、本校の教育活動への理解と信頼が深まるよう取り組む。</p>	<p>①地域や外部関係機関と連携した教育活動の充実を図るとともに、地域へ貢献できる学校づくりを目指す。</p> <p>②保護者、地域へ情報の発信に努め、教育活動の理解を促進する。</p>	<p>①ボランティア活動、大学等の校外講座等に情報提供等を工夫し、生徒が主体的に参加できるよう働きかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の行事などに生徒が多く参加できるよう働きかけ、地域との連携を推進する。 <p>②授業紹介や授業での生徒の取り組みの様子、部活動や行事等の生徒の活動をHPに掲載する。</p>	<p>①情報提供方法等の工夫を図り、ボランティア活動や校外講座等の参加者が前年度より増加したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域への行事に参加した生徒が前年度より増加したか。 <p>②生徒の活動が具体的にわかるよう情報発信することができたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	学校生活が生徒の成長にとって有用なものでありかつ安全・安心な場であり続けることを目指し、創意工夫をもった取り組みを大切にす学校経営を進める。	<p>①生徒が安全で安心した学校生活を送れるよう教育環境の整備、充実を図る。</p> <p>②事故・不祥事の防止に向けて、職員一人ひとりの意識のさらなる向上を図る。</p>	<p>①年次進行型の教育課程に即した教育環境、施設整備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒による美化活動の充実を図り、校内美化活動を推進する。 <p>②職員の事故・不祥事防止について日常的に意識啓発を行い、事故・不祥事を防止する。</p>	<p>①教育環境や施設整備を確実に進めることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> フレキシブル型の時に比して校内美化活動が活発に行われたか。 <p>②県作成の職員啓発・点検資料などを用い、事故防止会議や研修会を実施したか。</p>					